

補助事業番号 20-115
 補助事業名 平成20年度
 循環型社会構築及び地球環境保全に関する調査研究等補助事業
 補助事業者名 社団法人 日本産業機械工業会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

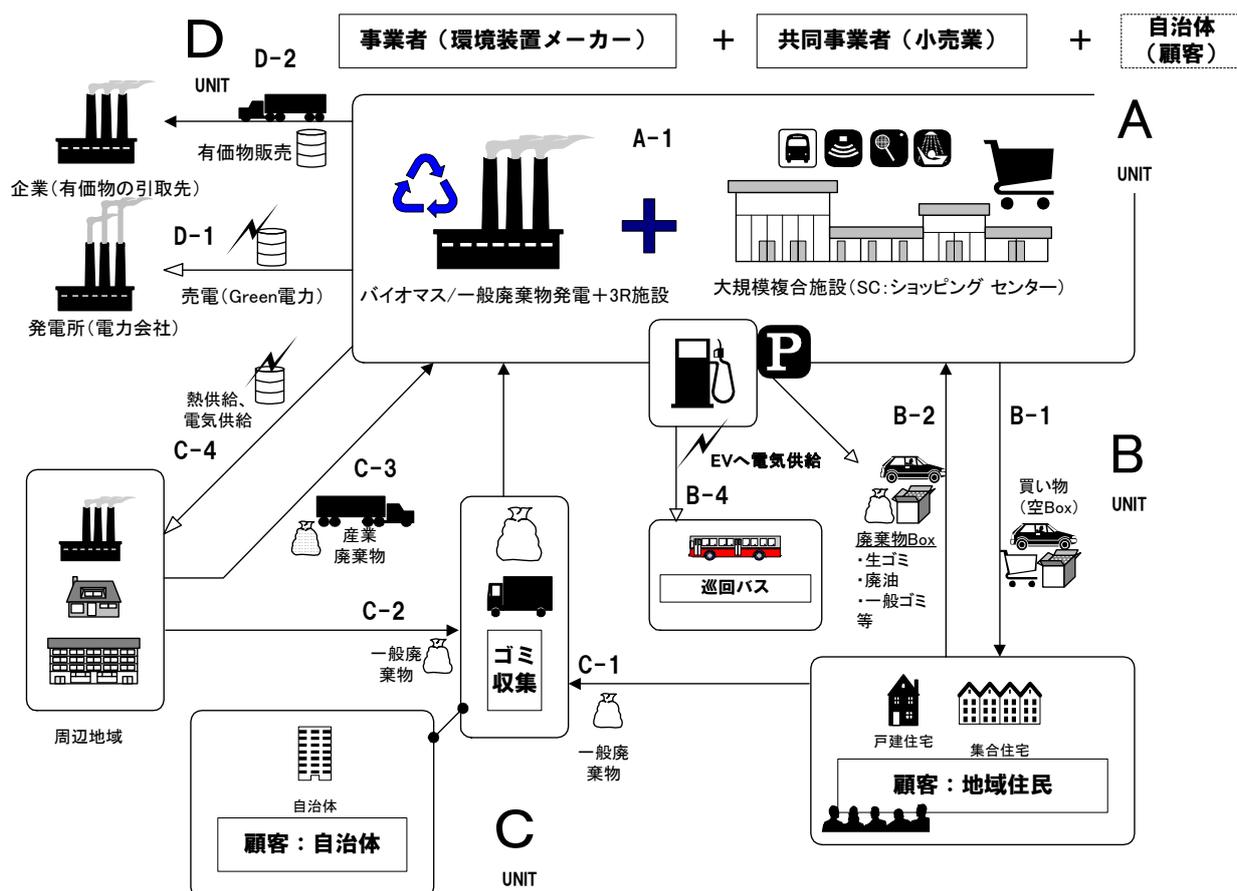
国内外の環境問題、エネルギー問題の解決に貢献するため、グリーン・サービサイジングによる環境負荷低減手法のあり方等の検討、環境装置産業におけるエネルギー対策、代替エネルギー化社会確立に向けた検討、また新たな環境対策技術に関する検討等を行い、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容 (http://www.jsim.or.jp/news_0806_01.html)

①環境負荷低減を指向したグリーン・サービサイジングに関する調査研究

環境装置産業では、これまでの製品販売型のみならずサービス提供を含めたトータルソリューションが求められつつあり、環境負荷低減効果が期待されている。本調査研究では、グリーン・サービサイジングの国内外の先進事例を調査するとともに、ビジネスモデルの構築および構築した事業モデルの事業分析等を行い、合わせて将来市場推計を試みた。本事業は2カ年計画の2年目に当たる。

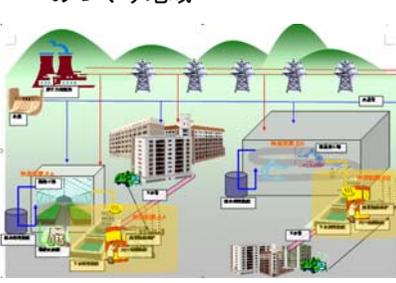
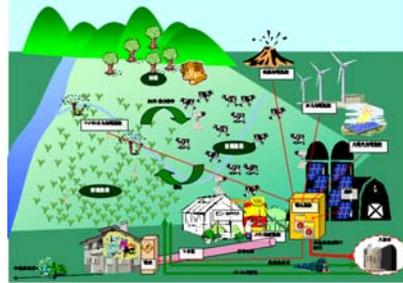
【構築した事業モデル】



②環境装置産業におけるエネルギー構造変化に関する調査研究

近年のエネルギー問題、環境問題を鑑み、環境装置産業においてもエネルギー利用効率の向上、代替燃料利用等を進める必要がある。本調査研究では、我が国のフレームの長期見通しや地域の将来像を整理する事で社会情勢の分析を行い、想定される地域の将来像毎に環境装置産業において実現を目指すべき処理・供給イメージを構築し、事業化に向けたロードマップの作成を行った。本事業は2カ年計画の2年目に当たる。

【2050年におけるシナリオ別地域の将来像】

シナリオ	高密度地域（都市部）	中密地域（郊外部）	低密地域（農地・山間部）	共通する方向性
<p>シナリオA 【ドラえもん型】</p> <p>都市居住選好志向や利便性・効率性の追求から都心部への人口・資本の集中が進展</p>	<p>a) 集約処理・エネルギー化システム導入 人口密集都市</p> 	<p>b) 熱エネルギー需給近接・水リサイクルシステム等導入 循環型ものづくり地域</p> 	<p>c) 自然エネルギー活用 大規模農業地域</p> 	
<p>シナリオB 【サツキとメイ型】</p> <p>ゆとりある生活を求めて、都心から地方・農山村への人口流出が進み、人口や資本の分散化が進展</p>			<p>d) 独立分散型エネルギー供給システム導入 小規模農業・住宅地域</p> 	<p>共通する方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小規模・分散 ● 低効率の許容 ● 汎用技術・システム

③環境装置等に関する動向調査研究

オーストリア及びその他の西欧諸国、東欧諸国並びに中近東諸国、北アフリカ諸国の地域を対象として環境装置産業等に関する動向調査、各種情報収集、PR等の諸活動を行った。

入手した情報は当月毎に報告書に纏め工業会会員、一般、JETRO等関係機関に広く公表した。

2. 予想される事業実施効果

①環境負荷低減を指向したグリーン・サービサイジングに関する調査研究

環境装置産業のグリーン・サービサイジング事業への移行にあたっては、いくつかの課題はある。しかしながら、本事業により検討したモデル事業をベースにユーザー（顧客）に対し持続可能社会に向けた環境ソリューションとして国や自治体の支援を受けた共同研究など、グリーン・サービサイジングの実現に向けた実証実験が今後進んでいく事で、新たなビジネスモデルの実現と環境負荷低減に繋がることが予想される。

②環境装置産業におけるエネルギー構造変化に関する調査研究

本事業で作成した事業化に向けたロードマップを実現するためには、エネルギー供給の望ましい姿、実現方法、必要な技術・システムについて住民、行政、環境装置産業などの関係主体が相互に働きかけて検討していく事が必要となり、これらが行われる事でCO₂削減に向けた省エネルギー社会の実現に繋がっていく事が予想される。また、その際に用いられるロードマップとして本事業の4つの将来像イメージは、どれか1つに収斂されるのではなく、また、4つのイメージに固着せず、これらは修正、複合される必要がある。

③環境装置等に関する動向調査研究

オーストリア及びその他の西欧諸国、東欧諸国並びに中近東諸国、北アフリカ諸国の地域を対象として環境装置産業の動向調査、各種情報収集、PR等の諸活動を行い、その情報を広く公表したことによって我が国産業機械産業の更なる技術発展と円滑な投資促進が図られる。

3. 本事業により作成した印刷物・本事業により導入した設備

○平成20年度環境負荷低減を指向したグリーン・サービサイジングに関する

調査研究報告書

○平成20年度環境装置産業におけるエネルギー構造変化に関する調査研究報告書

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社団法人 日本産業機械工業会（ニホンサンギョウキカイコウギョウカイ）

住所： 105-0011

東京都港区芝公園 3-5-8

代表者名： 会長 日納 義郎（ヒノウ ヨシオ）

担当部署： 環境装置部（カンキョウソウチブ）

担当者名： 浦田 耕平（ウラタ コウヘイ）

電話番号： 03-3434-6820

FAX 番号： 03-3434-4767

E-mail: environment@jsim.or.jp

U R L: <http://www.jsim.or.jp>